

令和3年度

事業報告書



社会福祉法人 永光会

居宅介護支援事業所 永光荘

1) 総括

令和3年度は、管理者をしていた主任介護支援専門員が12月末付で退職し、職員の補充が、令和4年度に持ち越しになってしまったことが大きな誤算であった。

以下の令和3年度の各目標の評価にまとめる。

【年度目標①】

担当月間利用者数、月平均125人（要介護95人、要支援30人）。

（評価）

令和3年度結果、月平均122人（要介護95人、要支援27人）。

令和4年1月以降内部の有資格職員の異動を行い、要介護利用者への対応はできた（表1-2）が、介護予防プラン作成管理については、別途予防プランの作成研修修了者ではなくては、担当できないため、古巻地域包括支援センターからの委託部分の一部を返納（表2）し、対応したため、目標を達成することができなかった。

新規利用者獲得のため、各医療機関への働きかけを行った結果、介護度の高い利用者が増加した。その分、再入院や施設入所等の動きが多くなり、不安定な利用状況につながっている。しかし、医療機関からのニーズは高いため、今後も連携を密にし、対応していきたい。

【年度目標②】

新型コロナウイルスワクチン接種にあたり、担当利用者に必要な情報提供やサポートを行う

災害時に対応できる事業所として、永光荘の事業継続計画策定に参加

（評価）

新型コロナウイルスワクチン接種の申し込みや接種対応について、福祉有償運送の活用も含め、サポートができた。

事業継続計画では、担当利用者の安否確認の優先順位や連絡表一覧を居宅ケア部と調整して作成を行った。利用者状況に合わせて見直しを行っていく。

【年度目標③】

事業所運営の安定化

（評価）

担当できる利用者の上限を意識して利用者確保を行い、常勤の介護支援専門員を増員することで加算を確保し、事業所運営の安定化を図りたいと活動していたが、下半期は、年度目標①の記載のとおりに対応に迫られることになってしまった。

1年足踏みをしてしまったが、令和4年度の事業目標達成に向け、しっかりと取り組んでいきたい。

2) 付表

表1-1 要介護度別利用状況

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和3年度	337	354	238	119	91	1,139
令和2年度	375	306	287	89	53	1,110

表1-2 月別利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	36	35	34	36	37	35	36	36	35	36	31	31	417
女	62	61	61	63	63	62	61	59	57	56	57	60	722
合計	98	96	95	99	100	97	97	95	92	91	88	91	1,139
令和2年度	89	87	92	93	92	93	94	93	99	96	91	91	1,110

表2 介護予防 月別利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	12	10	12	13	11	11	10	10	9	7	7	7	119
女	20	20	19	19	20	20	19	18	17	12	11	10	205
合計	32	30	31	32	31	31	29	28	26	19	18	17	324
令和2年度	27	25	26	27	26	27	27	26	28	29	30	31	329

表3 共同（5事業所）事例検討会実施状況

実施日	実施場所	事例検討内容
令和3年10月20日（水） 13:30～	渋川市社会福祉協議会子持支所 会議室	事例提供事業所ケアマネが課題を感じている ケース事例を検討する。 (事例提供：居宅介護支援事業所赤城苑)

※新型コロナウイルス感染まん延のため、1回は中止。